



MC-Japan デュアルスポーツ小豆島 28
開催レポート

office action

今年も来ました！ 年に一度のパラダイス！

DUALSPORTS
SHODOSHIMA

デュアルスポーツ小豆島

SUPPORTED BY

MC-Japan

デュアルスポーツ小豆島 28

2022年4月23 - 24日

会場：小豆島ふるさと村

PHOTO&TEXT：office acition

例年、晴天率が高い5月下旬の開催としていましたデュアルスポーツ小豆島、湿度と気温が高く熱中症の懸念があるために4月下旬に開催日を変更して5年。暑くも寒くもなく、気温はちょうどいいのですが少し気候が安定しないのが残念なところでした。そして、また今回も……ふられちゃいました。雨でも思いっきり楽しんでいただけた二日間の様子をレポートします。



▲今年の亀岩もごわい。今年は何人が成功したのでしょうか
▲海岸からすぐに急斜面の山。そういえば雲行きが。。。



▲ DAY1 スタート。このころはまだ青空も顔を見せていました。



▲パンツをゲット。

そんな不安もありつつ、一日目を走り終えた皆さんには、デュアルスポーツ小豆島の後援でもあるMC Japan様よりご協賛いただいた、アチエルピスの豪華賞品が当たる抽選会が待っています。
ジャケットやライディングパンツなどの他に、かわいいアンブレラなど、豪華アイテムが目白押しで皆さんニコニコの抽選会でした。

このチェックポイントの先の上級コースには、名物の亀岩があります。
最初のこのメートルの登りの坂を過ぎれば、皆さんお待ちかねの亀岩が現れます。
ここに、こんな亀の甲羅みたいな岩があるのを知っているのは、CS参加者の特権ですね。以前は、越えるしか無かった亀岩ですが、現在は迂回するルートがあってそんなに頑張らなくても通過出来るようになりました。でも、やはりたくさんの方がチャレンジしましたね。
亀岩の後はジャングルクルーズみたいな竹と轍のルートを越えれば、基本コースに戻り爽やかなフラット林道が続きます。
三都半島の元別荘地の中を抜ければ本日のコースは終了です。



▲壊れてレッカーされてきました。

▼修理して明日も走るそう。

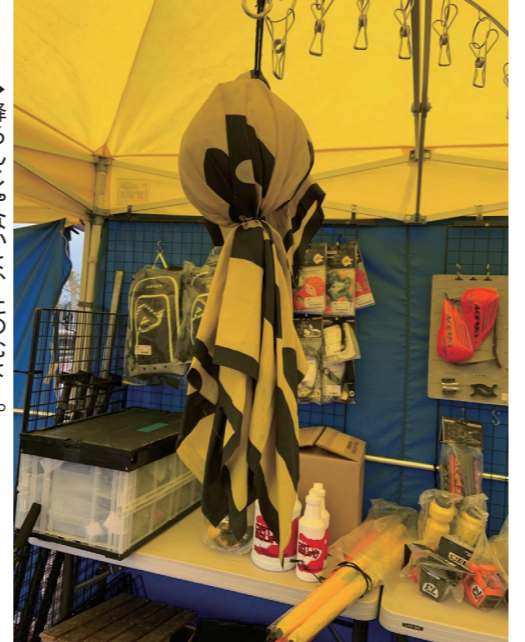
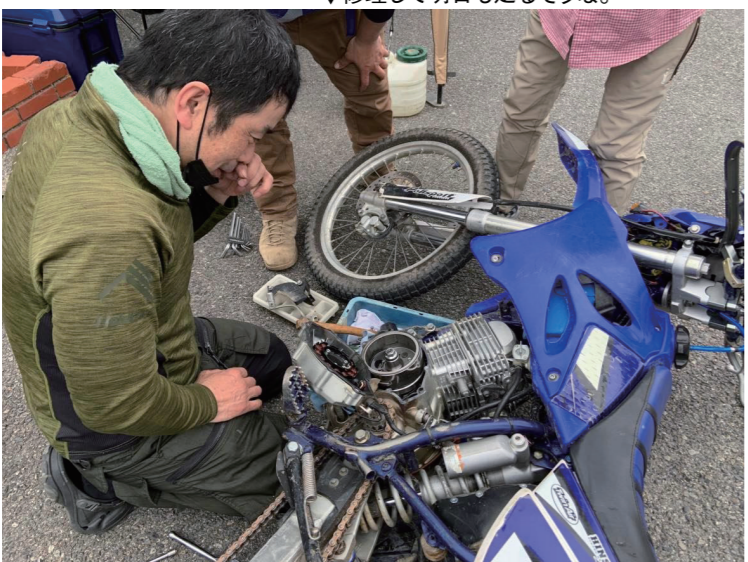


▲なかなかの旧車。これじゃ亀岩に登れない!との談。

スカイラインに戻り休業中太陽の丘から粟地ダムへの下り林道は、全員走行の基本コース。
最初は柔らかい土の何事も無い林道ですが、途中からはガレガレのとても走りにくい道となります。これはほぼ使われなくなったこの道が自然に還ろうとしている現象なのでしょう。更にイノシシの掘り返しで毎年、瓦礫撤去作業の様な手間がかかる所でもあるのです。
そんなガレガレ林道も、やがて山を下り粟地ダムへ近付くにつれ路面は爽やかな普通の林道となります。
林道から市街地を抜け内海灣を左に見てチェックポイントへ。参加者の皆さんはここでちょっと一息。

1DAY
本部では、いつもの顔や新しく参加してくれた方が次々と受付を済ませ、これから走るルートへの期待が高まります。
プリーフティングの後、最近の恒例になったラジオ体操を全員で行い、いよいよスタート。スターティングエリアでは、飲料水の携行チェックと、チェックカードにスタンプを押してからスタート。
今日はレースではないので、皆さんゆっくり、のんびりと出発します。
土曜日のルートは、本部のある小豆島ふるさと村から東に、内海方面へ進みます。天候は曇り。なんとか今日の雨は免れたかな。
市街地を抜け、まずは果樹園ルートから登りのダートへと進みます。ここは全員通過の、ある意味最初の難関。今回は路面もよく渋滞せずに全員が気持ちよく進めたようです。
ここからスカイラインに出れば上級コースとの分岐。この上級コースは急勾配と浮いたごぶし大の石でかなりの手強さ。

← DAY 2 につづく



▶降るんじゃないよ、たのむよー。



▲うーん、なんかおかし。「うん、キャブばらすわ。」「え、いま?」
※セリフは想像です



▲素晴らしい動画を作ってくれた1DAY参加の林道六級の面々。あれ、1人足りない?



そして本日のメインルートへ進みます。

こんな山の中を進んでこの先どうなるの？的なアドベンチャー感満載です。ガレと倒木と藪漕ぎ全部が揃った、例えばスペシャルランチプレートとでも言えば良いかな？そんなルートでしたが、皆さん力を合わせて進めました。

基本コースから、途中で別れる上級コースはこれでもかとガレと丸太が道を塞ぎます。

雨の中、このルートを進んだ方は、さぞかし楽しかったでしょう！と私（奥村）は思うのです。

その後は、山を降ればゴールへ向かいます。

残念ながら、雨のため～回目の亀岩ルートはキャンセルとなりました。

ゴール後は雨も止み、小豆島名物の素麺を食べ、今年のデュアルスポーツも幕が降りました。

終わってみれば、雨の林道もまた楽しかったですね。

閉会式は無いですが、「また来年年！」と声を掛け合っって無事解散となりました。

参加の皆さん、ありがとうございました。また来年も、この島で再会しましょうね。

▲今日もラジオ体操からスタート。

DAY2 やっぱり・・・雨

特設キャンプで夜を過ごした参加者の方は、テントを叩く雨音で起こされたのではないのでしょうか。残念ながら本日は天気予報が当たり。朝からテンション上がりがないね。

ちよっと憂鬱な顔をしてたり、キャンセルを考えてる人も・・・

そんな中に超元氣者がいました、なんと昨日愛知県日進市から出発し、早朝にクロスカブで駆けつけた若者がいたので。

その彼は雨も疲れもモノともせずDAY2のコースに飛び出して行きました。

弱冠19歳！若いっていいなあ。

今日のルートは小豆島の最高地点まで行くルート。とても景色の良い小豆島が半分見えるビューポイント。

しかしこの雨でショートカットとなりちよっと残念。。

次回のお楽しみとしておきましよう。

まず、上級はヴィラ別荘地からの下り。

ここは、以前は全員走行の基本ルートだったのですが、やはり元の山に還ろうとする自然の力により上級コースになりました。

基本コースに戻って、いかにも小豆島らしい田園風景の農道を抜けて、蛙子池のチェックポイントへ。

ため池百選にも選ばれたこの池は構築から400年以上経っているそうです。今からは想像も出来ない昔事ですが、この先400年後にはどんなバイク？が走っているのか、これまた想像出来ないです。



▲丸太はつつー。

▲誰も見ていないと思ったら（笑）



▲この夏で引退のジャンボフェリーこんぴら2。次回は新しい船での小豆島ツアーに。

皆様からご協力いただきました林道修復協力金は¥15000円となりました。小豆島ふるさと村を通じて「三五郎池土地改良区」に届けさせて頂きます。不足分はオフィスアクションで補填して確実に届けさせていただきます。ご協力ありがとうございました。